

議会だより

NO.72

2011
10・25

たからほ

〈宮崎県高千穂町議会〉



決まったね～(岩戸小学校 運動会)

慎重な結論を求める

(最終報告 TR跡地)..... 5

基金から1億3千万円繰入(国保会計)..... 8

町民総力戦で医師の確保..... 9

一般質問に8人..... 10～13

平成22年度 一般会計決算 過去最高 額の107億6130万円

9月定例会

第3回の定例会（平成22年度決算議会）が9月5日から26日までの会期で開かれ、決算議案10件、補正7件、人事案件2件、条例3件、追加議案1件など、計32件を審査し、全ての議案を全会一致で可決しました。

9月30日に臨時会を開会し、新しい議会構成が決まりました。



はよ入れにや〜（岩戸小学校）

決算 審査 議会からの意見

（総務課）

- 職員の接遇を含め意識改革を図り、住民サービスの向上に努めること。
- 住民の要望に対して、スピーディに対応するよう全職員に指導すること。

（財政課）

- 町有地の更なる有効活用を図ること。
- 町有地の貸付料については、営利団体とボランティア団体とは見直しを図ること。

（税務課）

- 税金の徴収については組織の強化を図り、徴収率を上げること。

（企画観光課）

- 観光6施設の赤字解消に尚一層の努力をし、早急に経営改善を図ること。
- 各事業の取り組みに対

して、対応を早く行うこと。

- 観光案内板の設置を、早急に取り組むこと。

（農林振興課）

- 国・県の有利な事業を確保し、有害獣対策の強化を図り、実績を上げること。
- 耕作放棄地が増加傾向にあるため、国・県の支援や補助事業を取り入れて、営農支援を行うこと。

（農地整備課）

- 災害復旧事業の対象にならない小さな被害については、町単独で補助が出来るように取り組むこと。

- 国・県の有利な事業を確保し、更なる農地保全に努めること。

- 土地改良区の合同事務化に取り組むこと。

（建設課）

- 町道の改良・維持管理費を増額すること。

（町民生活課）

- 下水道世帯と合併浄化槽世帯の維持管理費には、不公平感のないような対策を講じること。

- 合併浄化槽の設置補助金の増額はもちろん、町独自の補助金を含め、普及率アップに努めること。

（福祉保険課）

- 未収金の対応については、保証人などの対応策を考え、収納率のアップに努めること。
- サテライト・デイサービスについては、更なるサービスの充実にも努めること。

- 災害時要援護者システムを消防防災係と連携し、内容を充実させ、福祉の

支援に繋がるよう努力すること。

（ときわ園）

- 施設運営の経費節減を図り、生きがいのある施設づくりに努めること。

（保健福祉総合センター）

- 特定検診は受診率が向上し、休日出勤の努力は見受けられるが、時間外については振替休日などの対応を考慮すること。

（教育委員会）

- 予算の執行残が多く、不用額が見受けられるが減額補正も含め、執行率のアップに努めること。
- 育英資金の滞納者については、貸与者本人からの誓約書を取り、また保証人を含め、厳しい対応策を講じ、収納に努めること。

決算の概要

高千穂町一般会計決算の総額が過去最高の107億6130万円となりました。

これは平成21年度から繰り越した地域情報化推進事業（光ケーブル）や里山エリア再生交付金事業などの普通建設費が前年対比59・4%、金額にして32億8507万3000円の増となったためです。

また、人件費が22%の減、子ども手当などの扶助費22・1%の増、公債費が33・9%の減、町立病院事業会計への繰越金が6・1%増の1億3585万6000円となっています。

平成22年度 会計別決算状況（単位：万円（万円未満 四捨五入））

会計名	歳入総額	歳出総額	基金積立金	翌年度繰越額
一般会計	109億5014万	107億6130万	1億0000万	8884万
特別会計				
国保事業	21億2045万	20億5641万	0万	6404万
簡易水道事業	5740万	5726万	0万	14万
老人保健	308万	308万	0万	0万
下水道事業	1億8917万	1億7794万	0万	1123万
西臼杵地域介護認定審査会	698万	681万	0万	17万
介護保険事業	12億7609万	11億9512万	0万	8097万
介護サービス事業	4871万	4601万	0万	270万
後期高齢者医療特別会計	1億5086万	1億4928万	0万	158万
病院事業	収益的 2411万	20億0917万 2億4547万		
水道事業	収益的 2935万	1億4942万 8583万		

最終報告 TR跡地 慎重な結論を求める

— 鉄道跡地等利活用調査特別委員会 —



ほどれい補助金があるのか？（中山間・地域政策課）



厳しい予算確保

TR跡地を今後どのように有効利用出来るかを、議会で調査・検討するための委員会を平成22年9月2日に設置し、委員会としての最終報告を平成23年9月の決算議会で以下のとおり報告しました。平成22年10月の日之影町の「リバーパークひのかげ」、平成22年12月の福岡県田川郡赤村「赤村

①震災復興や原発事故の対応が長期化すると予想される。
②高千穂小学校建設完了

4つの意見

本年度までに合計7回の委員会を行い、各委員の意見を集約すると次のとおりです。

以上のことから、事業を始めるにあたっては、大掛かりな投資でなくとも地道な事業を積み重ね、町民と意見交換をしながら将来計画を早急に立ち上げる必要があります。

③初期事業投資額が約4億円を超える。
④既存の町営施設などの赤字解消の計画が示されていない。



どんな公園になるかな？（高千穂駅）

国内外の社会情勢、財政状況を考えたとき「今回の事業計画については諸事情を検討の上、慎重な結論を出すこと」を本特別委員会の総意として要望するものであります。



これが聞きてえ～

この事業の支出先は

質疑 地域支え合い体制づくり事業では、どういう団体に補助金が交付されるのか。
答弁 中山間地域の人々と行政が一体となって支え合っていく体制づくりをする事業である。各公連の代表や女性部の代表をまじえ委員会を設置し、対象地区を選定していく。

園補助金の内容は

質疑 安心ことも基金認定ことも園整備事業補助金3300万円の事業内容は。
答弁 この事業は、県が2200万円と町1100万円の予算で、幼稚園と保育所機能を一緒にした幼保一体教育の建物補助金である。

交付団体はどこ

質疑 連携と交流による頑張る農村支援事業の内容と交付団体は。
答弁 所管変更による事業の組み替えである。交付は5団体で、下野西の機械共同利用組合・同じく下野西八幡地区の茶共同機械利用組合・岩戸地区の受託組合でコンバイン1台・上川登地区で単棟ビニールハウス1組・中川登集落で加工施設を計画している。



ちゃんと話を聞いてね～（木の花幼稚園）

毎年の負担か

質疑 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議（広域観光圏）への負担金70万円は、毎年負担するのか。
答弁 阿蘇くじゅう観光圏（阿蘇・竹田・高千穂）に6月13日に加入し、70万円のうち50万円は毎年負担となる。今後も広域的に観光づくりに取り組んでいく。



牛が喜ぶばい（上野地区）

水量が年々減少

水道事業決算

経営の健全化を要望	
歳入	給水件数3244件・給水人口6432人です。事業総収益1億4942万円・事業総費用1億3018万円・経常利益1924万円です。
歳出	建設改良費5211万円の、主なものは第2水源系電気計装設備改良工事2844万円など、全部で11ヶ所の改良工事が実施されましたが、水道使用料未収金は498万円です。
歳入	1億8917万円の、主なものは使用料7472万円・繰入金（一般会計より）9402万円・受益者負担金575万円です。
歳出	1億7794万円の、主なものは公債費1億111万円・施設管理費4231万円・業務策定計画委託料600万円・工事請負費199万円です。今後も接続率の向上、未収金対策の強化、経営健全化を要望します。
全員賛成で認定	
水源の確保に支援を	
歳入	簡易水道事業は26施設で運営され、給水人口5842人、年間配水量69万立方メートル・有収率84・1%です。
歳出	5740万円の、主なものは水道使用料4064万円・繰越金1623万円です。
歳入	簡易水道事業は26施設で運営され、給水人口5842人、年間配水量69万立方メートル・有収率84・1%です。今後は、渇水期・災害時においても安定供給できる給水施設や、水源の確保に対して早急に支援策を構築することを要望します。
全員賛成で認定	

総務産業常任委員会



委員長 坂本 弘明
副委員長 佐藤 久生
委員 堀川 容佑
委員 熊埜御堂 勝彦
委員 工藤 博志
委員 奈須 克喜
委員 富高 健一郎
担当する課
・総務課・財政課
・税務課（国保税を除く）
・企画観光課・会計課・建設課
・農林振興課・農地整備課
・上下水道課・議会事務局
・町民生活課所管の戸籍・3出張所

期待していいばい！

意見書

森林・林業・木材産業施策に積極的な展開を！

森林・林業・木材産業を取り巻く状況は依然厳しく、地域の方々により築かれた森林は、採算性低迷のため利用されず放置されています。再生実現どころか、森林荒廃を招き、水源涵養国土保全、地球温暖化防止等、森林の公益的機能に支障を及ぼすことが懸念される事態となっています。

要旨
未曾有の被害をもたらした東日本大震災の復興のためには、山地災害からの復旧や海岸防災林の再生のみならず、災害地域の基幹産業として林業

・木材産業の再生が急務です。
また、復興資材である木材の全国規模での安定供給を推進していくことを強く要望する意見書を国に提出しました。

意見書

郵政改革法案の早期成立を求める

郵便局は、過疎地域を多く抱える本町において、地域住民の利便性の増進等に大きく貢献してきました。郵便局へ郵便の問い合わせができないことや、各種手数料が上がったなど、「利便性向上」を謳う法の趣旨に逆行する様々なサービスダウンが生じ、地域住民から不満の声が寄せられています。

要旨
全国に2万4千郵便局ネットワークは国民共有の財産であり、生活に必要不可欠なライフラインです。更に地域社会が有効活用していくためにも、一刻も早く郵政改革法案を成立するよう強く要望する意見書を国に提出しました。

議会運営委員会



委員長 熊埜御堂 勝彦
副委員長 奈須 克喜
委員 佐藤 定信
委員 戸高 清次
委員 坂本 弘明

びしゃつとヤルバイ！



広くなったきりハビリがばつての〜（リハビリ室）

診療体制
平成22年度の診療体制は、常勤医師が外科3人、内科3人、整形外科2人、小児科1人、眼科1人の合計10人です。
非常勤医師は、循環器科が週2日、皮膚科が週3日、耳鼻咽喉科が週1日、泌尿器科が週2日で、各1人、臨時職員・委託職員を合わせ189人の体制で運営しています。

診療の実績
外来患者数は延べ9万9017人、一日平均408人、前年に比べ25

要因について
4月から泌尿器科医師が1人となり、入院患者を受け入れられなくなったこと、泌尿器科外来診療日数が週5日から週2日に減ったこと、整形外科外来患者の減による

町民総力戦で医師の確保
医師と町民のネットワーク
町立病院

95人（2・6％）の減となつています。入院患者数は延べ3万6679人（一日平均101人）、前年の年間3万8718人（一日平均106人）に比べ2039人（5・3％）の減、病床利用率は83・7％です。

4559万円は赤字
事業総収益は19億6358万円、事業費用は20億917万円、純損失4559万円です。

未収金対策を

5月現在未収金は外来未収金69万円（262件）、入院未収金280万円（35件）、過年度未収金1180万円を合わせると1529万円（731件）です。

未収金のうち一部負担金は前年度対比227万円の増となっており、徴収率を上げる努力が必要です。

委員会の意見

委員会の総意として、今後は医師と町民とのネットワークづくりを構築し、更なる医師の確保に万全を期することが重要です。

更に、地域のニーズに十分応えることができる質の高い医療体制が確立できるよう要望します。

（全員賛成で認定）

文教厚生常任委員会



教育・福祉はおまかせください。

- 委員長 戸高 清次
副委員長 飯干 清喜
委員 佐藤 定信
委員 谷川 秀憲
委員 富高 友子
委員 馬原 英治
委員 佐藤 節生
担当する課
・町民生活課（生活環境・国民年金）
・福祉保険課・保健福祉総合センター
・ときわ園・教育委員会・町立病院
・税務課（国保税）

国保

準備積立基金が年々減少

22年度基金から1億3,000万円繰入（21年度5,000万円）

国民健康保険特別会計決算は、世帯数2443戸、被保険者4677人、歳入総額21億2045万円、歳出総額20億5641万円です。

歳出の主なもの、保険給付費が13億1032万円、後期高齢者支援金1億8852万円、共同事業拠出金2億9904万円などです。



元気いっぱい（国保・ミニバレー大会）

財政状況

6403万円の当期剰余金を出し翌年度へ繰越していますが、22年度からの基金繰入が1億3000万円あり、実質22年度収支は1億1169万円の赤字です。

一人当たりの給付額は32万1234円・前年度比1・29％の増であり、医療費の削減が早急な課題です。

（全員賛成で認定）

委員会の意見

委員会の総意として、国民健康保険準備積立基金も1億4413万円と年々減少しており、基金のあり方については更なる適正な管理に努めることを要望し、徴収については税務課だけではなく、全庁的に取り組むことを望みます。

（全員賛成で認定）

**ふえ続ける
介護医療費**

前年比1,660万円増

介護保険特別会計決算は、歳入決算額12億7609万円に対し、歳出決算額は11億9512万円、前年度比1662万円の増です。

主な歳出は保険給付費として居宅介護サービス3億2860万円、施設介護サービスの給付費が6億1096万円、地域密着型介護サービス給付費が8620万円などです。

24年度から着工



広がったばい（本組側）

**高千穂小を
改築**

築50年を経過し、老朽化が激しい高千穂小学校の改築は、平成24年度から着工する事に決まりました。

23年度は校舎建築に必要な進路などの拡幅工事が施工されました。



ちつと大まかじゃの～

問 自動車が出掛け、野外での食事やテントでの宿泊を楽しむオートキャンプの旅が増えている。近年、道の駅や武道館の駐車場、車中泊をする旅行者が多いようである。



富高友子議員

町長 オートキャンプ場の設置を、まずは既存施設のPRを

町長 オートキャンプ場の設置を、まずは既存施設のPRを

町長 オートキャンプ場の設置を、まずは既存施設のPRを

オートキャンプ場の設置を

まずは既存施設のPRを

問 観光業は、本町にとって農業とともに最も重要な産業の一つである。不況や東日本大震災などの影響で観光客の入り込みが減少している中、町をはじめ関係団体が一生懸命努力されているのは十分承知しているが、次の点について問う。高千穂町サイン計画が

町長 内容は、資料調査、入り込みの導線計画やサイン施設など合計139カ所に設置する計画であり、町観光マスタープランの策定も予定している。盆の時期、前年度と比較しての入

町長 8月11日から16日の6日間、4万6870人となっており、前年比90・4%である。盆の時期、町内の道路は大混雑するが、旅行者には道順のわからない人も多く、町全体の案内板が少なく、苦情が寄せられている。町入口（国道218号）

町長 案内板は、町内の観光地にはほぼ設置してあるが、町の入口には設置していない。案内板があると観光客には利便性が図れると認識はしているが、設置には一定の駐車スペースが必要であるため、今後、国・県道の管理者である県とも協議したい。



見はらしがいいぞ（四季見原オートキャンプ場）



佐藤久生議員

観光案内板の設置を

町長 国・県と協議したい



よか米ができたばい

町長 本町の第1・第2水源はともに湧水であるが、例えば阿蘇の名水と比べてどのようなレベルか。塩素処理のみであり名水とあまり変わりはないと考える。

町長 旭化成に負担をいただいているポンプ動力費に限らず、供給施設の建設費、維持管理費など適切な費用を

町長 課全員で、夜間徴収や給水停止措置で回収に努めている。

町長 課全員で、夜間徴収や給水停止措置で回収に努めている。



飯干清喜議員

上水道の運営は

町長 独立採算制を基本に

町長 旭化成に負担をいただいているポンプ動力費に限らず、供給施設の建設費、維持管理費など適切な費用を

町長 課全員で、夜間徴収や給水停止措置で回収に努めている。

町長 課全員で、夜間徴収や給水停止措置で回収に努めている。

町長 農家減少対策として、高齢農業者や担い手に対する支援策が農家戸数の減少緩和に繋がるのでは。集落営農組織やアグリヘルパーなどの既存の制度を活用するとともに、新たな支援策を検討する。所得向上を図れる農産物推進の考

町長 県や関係機関と協議しながら、本町の特性を生かした品目を高千穂ブランドとして育成していく。各集落で高齢化が進む中、地域ぐるみで組織単位の集落営農が農家の生き残り策だと考えるが、支援策は。

町長 西臼杵型集落営農を推進し、国・県などの支援とともに、本町も併せて支援していく。農地の有効利用について、農家戸数が減少すると耕作放棄地が増加していく。経営維持可能な農地の有効利用と農家の規模拡大への方策は。

町長 10年後「農業を続けていてよかった」と実感できる農業施策への意気込みは。『農業が元気になれば町も元気になる』の理念を貫き、国・県の制度を最大限に活用し、可能な限り施策を講じる。



上水道施設としても利用できるよ

町長 今年の渇水期には役場南側駐車場に消火栓を新設し、水道水の輸送支援を行った。町民の生活に支障がないよう迅速な復旧対応や災害に強い施設づくりを今後の目標とする。

町長 薪ストーブの設置支援は。里山の整備や環境の改善、エコへの期待があり、状況などを調査したい。



工藤博志議員

農林業の振興策は

町長 新たな支援策を検討する

町長 農地相談員と分連携を取り、農家への集積を図るとともに、個別所得補償による規模拡大加算の利用を考えている。

町長 平成20年度の県の調査では、県内に25事業体あり、高い方から10番目程度である。渇水期や災害時などに利用できる取水場設置の考えはないか。

町長 他自治体と比較し、上水道料金

町長 他自治体と比較し、上水道料金



道がせめばい（青葉通線）



奈須克喜議員

問

三田井中心部を結ぶ道路網はほぼ整備された。町道田口野・松能橋線が都市計画道路として、平成13年度から19年度まで施工されたが、野菜集出荷場から宮交車庫付近までの約450mが未施工区間となっている。

青葉通線について

町長 効率的な道路整備を進める

小・中学校の通学路でもあり、道路が狭く歩道がないため雨の日が心配である。今後の都市計画路線の考えは。町長 野菜集出荷場から宮交車庫付近までの約450mについては地形的にも非常に厳しい。



堀川容佑議員

問

救急医療情報キットは、救急時に必要な情報（持病、病院、常備薬、緊急連絡先など）を一つにまとめて保管することで、救急隊、病院が迅速に救命活動を行えるようにするものである。高齢者の希望者を対象

医療情報キットの取り組み

町長 安心カード事業等を活用

に、このキットの配布事業に取り組んでいる自治体もある。円筒状の容器に、名前、かかりつけ医者、投薬情報などを記した用紙を収納、保管し、救急時に備えている。本町は一人暮らしの高齢者や要介護者も増加の

町長

本町は高齢化率33・7%と、3人に1人が高齢者で、一人暮らし高齢者や介護支援を必要とする人が増加している。

取り組みについては、地域支え合い体制づくり事業や、県が23年度事業で計画している安心カード地域見守り事業で、一人暮らしなどの高齢者を対象に「安心カード」を作成・配布予定であり、これらの事業を活用し、取り組んでいきたい。これから安心、安全な町づくりに努めていきたい。



これで安心（救急医療情報キット）



馬原英治議員

問

今年6月に発生した集中豪雨では、町道や農道・用水路の排水溝が急激な増水に対応できない箇所があったと聞いているが、その現状と対策はどのようなものか。

町長

現在の排水溝を含む施設は、過去の気象データを参考に設



危ね一のお（用水路下側崩壊）

集中豪雨への対策は

町長 国・県に設計基準の見直しを

計されており、近年の想定外集中豪雨に対し、見直しを考えている。国や県へ設計基準の見直しなど、要望活動も必要と考えている。

問

町内に数カ所ある農産物販売所と、町の施設内で運営されている道の駅と鬼八の蔵を今後どう運営されるのか。

町長

町内各施設の販売協力を行い、農家収入の安定を図りたい。道の駅と鬼八の蔵の統合は、両施設の形態を維持しながら検討したい。指定管理者への委託は、今は考えていない。



坂本弘明議員

問

農家が多く収入を得るには安定的な直接取引が望ましく、価格が安定していると安心して生産できる環境が構築される。JA職員は生産者と共に営業活動を行い高千穂ブランド確立に取り組んでいるが、更なる強化を

3町でJA支援を

町長 他町とも協議する

図り継続的な販売促進のための営業が不可欠である。今以上に効率よく他品目の物産展や流通調査が出来るようにするには行政の支援が必要である。JAが独自で営業活動ができる営業費の支援を3町で事業化して取り組

めないか。

町長

流通情勢の変化に伴い現在JAは直販販売課が販売事業を行っている。その中で対外販売を専門とした職員を配置し、営業を積極的に行っておりその成果は表れていると聞いている。

しかし他の産地においても同様の取り組みが行われていると考えられるので、他産地に負けない営業活動の強化が必要である。高千穂地区農協管内の有利販売を更に進めるため、農協と十分協議するとともに、他町とも協議して販売体制の強化拡充に対応したい。



JAも生産者も頑張っちゃうばい

議長 副議長 が選出されました



佐藤 節生副議長



富高 健一郎議長

議長挨拶

議長に再任され、改めて責務の重大さを痛感しています。大震災により国難に立たされている今、地方自治体は極めて厳しい財政運営を強いられています。

最終決定を担う議会の役割と責任は格段に重くなることから、議会の更なる機能強化を図ることが必要と考えます。今後とも町民の皆様の要望を厳粛に受け止め、議会の代表としてこれまでの経験を生かし、責務を遂行したいと思ひます。皆様の議会活動に対する尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

①抱負

町民全体の立場・目線で報告会等の意見交換を行い、分かり易い開かれた議会を目指します。

②血液型

A B型

③好きな食べ物

豆腐

④座右の銘

一視同仁

⑤趣味・特技

働くこと

⑥今一番気になること

原発事故とT P P問題

①抱負

常に町民目線で、分かり易い議会を目指し頑張ります。

②血液型

A型

③好きな食べ物

甘いもの

④座右の銘

試行錯誤

⑤趣味・特技

温泉旅行・ミニバレーボール

⑥今一番気になること

大震災を受けて、早期の復旧・復興を願う

議会報編集委員会



読みやすい議会報をめざします。

編集後記

9月は町内各地区で敬老の日を祝う行事が行われました。

70歳以上の方は3922人で、100歳以上が14人とのことでした。

集いに招かれて感じたことは、皆さん顔色も良く、今も現役で仕事をされている方が数多くおられ、嬉しく思いました。

今日に至るまでの皆様方の人生は、幾多のご苦労があった事だろうと拝察いたします。

今の豊かな日本があるのも、皆様のおかげだと心から感謝申し上げます。

これからも活力と生きがいに満ち、充実した生活を送られますよう願っています。

(K・N)

発行責任者

議長 富高 健一郎

議会報編集委員会

委員長 奈須 克喜
副委員長 佐藤 生喜
委員 富高 久生
委員 戸高 友子
委員 坂本 清次
委員 馬原 英治

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は12月5日開会予定です。

傍聴の申し込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL73-1219

(議会事務局直通)

高千穂町議会のホームページもぜひご覧ください。http://www.town-takachiho.jp/~gikai/

議会だより たかちほ No.72